

平成15年度 全国高等学校総合体育大会

# 長野西高校 女子団体 準優勝

2003年「長崎ゆめ総体」は、8月1日～4日、長崎県大瀬戸町民体育館仮設弓道場で開催され、女子団体で長野西高校が見事準優勝に輝いた。

平成15年度 全国高等学校総合体育大会

## 第48回 全国高等学校弓道大会 表彰式



長野県関係の成績は8ページ。 喜びの長野西校と飯田監督

# 弓道ながの

第7号

発行：長野県弓道連盟  
会長 古澤 博  
〒389-2253  
飯山市中央橋通り  
TEL 0269 (62) 4121  
編集：県弓連広報部会  
印刷：榊長野企画会議

### 『人と環境』

長野県弓道連盟参与

小林 義行

環境は人をつくり、人は環境をつくる。今地球環境が問題になっており温暖化が進み南極や北極の氷が溶け出しているとか、エルニーニョによる異常気象や地震噴火等々世界各地で被害が出ている。これは人の力ではどうすることも出来ないものであり、いかに文明が進んでも自然に逆らうことが出来ないことである。しかしその自然を破壊しているのが人間である。化学の進歩による豊かな社会を造ることは結構だがその反面二酸化炭素やダイオキシンの排出による大気汚染で生物に有害な物質を出している。これは人間が環境をこわすことになる。核戦争がはじまれば人類は滅亡するかもしれない。そんなことは決してあってはならない。弓道の環境づくりとは「場であり、人である」先ず弓道場がなければ稽古は出来ない。弓道を習いたい人は大勢いると思うが、場が無いために出来ない人もいると思う。戦後の二十年代、三十年代はある特定の場所にしか弓道場はなかった。だから弓道人口も少なかった。近年は各地に立派な道場が出来て指導者もいるようになったので、弓道人口も増加し特に女性の愛好者が多くなり指導者も増えた。これも場があり人がいるからである。良い指導者がいれば人は集まるものである。人が集まれば良い仲間が出来てお互いに切磋



琢磨しながら稽古すれば技術の向上につながる。これはそういう環境を人がつくるものである。弓道は他の武道と違い独占された一つの場が必要であり他の使用することの出来ない神聖な場である。その場を造るのも人であり、人と人とのつながりによって守られて行くものであり、人という字は支えてくれる者がいて人になる。一人では一であり人にはならない。それは「和」によって保たれている「以和為貴」和をもって貴しとなす。弓道の最高目標である「真、善、美」の善であり、和の精神こそ弓道の倫理性を追究するものである。幸い私は良い環境に恵まれて良い指導者と仲間恵まれたから今日まで続けることが出来た。誠に幸運である。国鉄部内に道場があり出勤前と昼休みそれと終業後の稽古で毎日百射以上矢数をかけており、時には朝まで稽古したこともあった。それも良い環境であったからであり、またよき仲間、ライバルがいたことである。「継続は力なり」

# 欧紀 欧州講習会の概要について

## 州行

全日本弓道連盟指導委員長  
県弓道連盟名誉会長  
欧州セミナー主任講師

宮澤 廣

私と小宮栄子範士・宇佐美義光範士・飯島正大範士の四名で、平成十五年度欧州講習会・審査会の講師・審査員として派遣を命ぜられ、七月十六日成田空港近くのホテルに集合し夜講習会(Aセミナー・Bセミナー)の日程について打合せをした。二週間に亘る長期間での協力を確認した。翌十七日ホテルを出て空港へ向う。空港ロビーで弓と矢筒をそれぞれ確りと梱包して機内積込みを依頼する。私達は出国手続をして出発ロビーへ向う。搭乗機は日本航空であった。成田空港を飛び立ち新潟市上空から日本海上空を飛び越えロシアのハバロクスク上空からシベリアを高度約一万米でモスクワへ更に進んでスイスのチューリッヒ空港へと向った。この間じつと我慢の十二時間であった。チューリッヒ空港からスイス航空に乗継いで約一時間三十分で目的地のジュネーブ空港へ到着した。同じ十七日の十八時四十分頃であった。入国手続をして荷物を受取り出迎えのスイス弓連会長ジョンマーク鍊士六段と



Aセミナー女子の櫛捌き(立射)

副会長のエスターデプロス五段の車に乗って約三時間、宿泊地マティーニ市のホテルへ到着した。二十一時頃であるが外はまだ明るい。ホテルは四年前に泊ったホテルである。指定された部屋も同じ部屋であり懐かしかった。窓からは高い山と麦刈の終わった畑がそこに見えた。これも四年前と変わりがなかった。さてマティーニ市とは何処にあるのか観光地図にはない。国際都市ジュネーブとレマン湖の辺にあるがそこ

からレマン湖を少し周って山の中へ車で約二時間位の処にある人口約二万人の小さな街である。イタリヤ方面、フランス方面への幹線道路のある要地でもあり、谷合の街である。

翌十八日はCセミナー最終日であったので見学で弓道場へ行きヨーロッパの称号者による指導状況を見た。真面目に一生懸命指導していたので感心を感じました。七月十九日初段・二段の審査会である。Cセミナー終了者のほとんどが受審した。審査委員長代行は宮沢が当り審査員五人はCセミナーの講師をした教士・鍊士が担当した。又全日弓連派遣講師三人も審査を見守った。結果は我々の採点とほぼ同様であった。彼等の審査眼も中々立派だと感心いたしました。七月二十日よいよ本番でAセミナーの開講である。四段、五段、称号者合せて八十三名、四射場に分けて一つの・持的・立射の各射礼と繰立射礼を加えての講習。特に立射礼における女子の櫛捌きは、全日弓連から持参した五十本程の櫛を分けて実施し、男子も実際に櫛捌きの練習をした。三日間のセミナー終了者に修了証書を授与した。続いて七月二十三日はAセミナー終了者の審査会であ



マティーニ市のホテル前で

る。五段三十三名六段六名鍊士二十名が受審、五段五名鍊士一名の合格であった。引続いて七月二十四日は二段・参段を対象にしたBセミナーの開段である。いささか疲れた。夜寝ても足が引きつって痛くて目が覚めることが二、三日続いた。しかし頑張りなきや。弓道場の数の少ないヨーロッパ各国の弓士には矢数を多くしたいと考え射技指導を中心にして基本体、基本動作、矢の処理、四ツ矢の捌方等も加えて講習した。受講者は全員弓道衣であったので射礼等は行なわなかった。受講態度は真面目で一生懸命であった。Aセミナー終了者は大半が残って自国

の受講者を見守っていた。更には通訳もしてくれたので大変有難かった。十七時終了後も十八時、十九時と熱心に練習をしていた。スイスはまだまだ夕暮れにはならない。三日間のセミナー終了者全員に修了証書を授与した。翌七月二十七日にはBセミナー終了者対象の参段・四段の審査会である。皆緊張していたが一生懸命行射した。合格者は参段八名四段十名である。中々立派な成績である。弓道場が少なくしかも小さな道場で思うように練習ができない状況の中でそれぞれ有効な方法を考へての練習に敬意を表したい。今日弓連では国際弓道連盟を結成して国際大会等を開きたいのである。今回もセミナーの開催中に各国代表者会議が開かれた。その時全日弓連の趣旨を説明したところ全員の賛成を得た。大変喜ばしいことである。これからは世界の日本弓道として発展していくことを祈念しています。

さて審査終了後ホテルに帰って帰国の準備をしてマティーニ市から飛行場のあるジュネーブ市のホテルへ送ってもらおう。ジュネーブで一日休息をして七月二十九日ジュネーブ空港を出発してチューリッヒ空港へ。ここからスイ

ス航空機で又十二時間の空の旅である。シベリア上空を経て成田空港へと向った。七月三十日午前八時頃無事に到着した。四人共に任務を果たして元気に帰国することができました。これにヨーロッパ連盟の関係者及び通訳をして頂いた方々の御支援によるものと深く感謝を申し上げます。又国内の皆様にも御援助を頂いたことに御礼を申し上げます。上げヨーロッパセミナーの概要報告といたします。以上

### 審査合格者

#### ○定期中央審査

#### ◆教士の部

7月4日 仙台  
永藤 聡(須高)

#### ◆六段の部

7月5日 仙台  
小川 きよ(須高)  
細田 尚(長野)

#### ○練士臨時中央審査

7月6日 仙台  
阿部 緑(上小)

#### ○関東臨時中央審査

#### ◆練士の部

9月13日 横浜  
池田 文英(上小)  
中根 厚司(松本)

#### ○北信越臨時中央審査

#### ◆練士の部

9月27日 新潟  
田尻 幸恵(中高)  
竹岡 幸彦(安曇)

### 弓道稽古の心得

長野県弓道連盟副会長 渡辺 静夫

私が弓の道に進んだのは、故滝沢徳男教士七段先生に進められ始めたのは、今から二十八年前でした。

何も分からない私を、毎日朝夕に熱心にご指導下さった、先生のお陰です。今私は、県弓道連盟発展に微力ながら尽くしておられるのも、先生のお陰と心より感謝して居ります。

ここで、私ながら、弓道稽古について考えて見る事にします。

第一に稽古の場合、まず的にこだわらず、先ず体配の練習です。教本に基づき正しい体配を身に付ける事です。

悪い癖が付くとなかなか直らなく成ります。的に中る事ばかり考えていると、つい知らず知らず悪い癖が付いて来るものです。自分では中るから良いと思ひ込んでしま

うものです。弓道は的に中るだけが良い射とは言えません。正しい体配で中らなければ成らないと思ひ。各審査会において、

二本的中しても合格できない事が多くあります。これは、それぞれの段位に適していない体配

だと思ひます。この点を良く考え、諸先生や先輩の方々に、射を見ていただき、悪い点を直す事です。

第二に、ではどうすれば良いか？と言う事に成ります。それには数多くある講習会に参加し、自分の癖を見て貰う事です。自分の射は自分では分からないものです。講習会に多く参加し、体配、射型を直す事が大切です。又講習会場において、諸先生、或いは先輩の方々、又良き体配にて弓を引いておられる方の射を見るのも為に成ります。良き射は誰が見ても良いものです。見取稽古も大事な稽古だと思ひます。

以上の様な事を心に銘じ毎日の稽古に取り入れていきたいものです。弓道では、これで良いと言う事はありません。無限のもので







# NEW!! わかふじ国体

第五十八回 国体開催地

静岡県弓道連盟事務局長

鹿又 清士

日本列島のほぼ中央に位置し、日本の大動脈、東海道の中核を占め、東は熱海から西は浜松まで東西に長く延びる静岡県。この静岡県のイメージは、一般に、富士山と温暖な気候といわれている。平均気温を見ても十七度と高く全国的にも鹿児島、宮崎、長崎といった九州の各県と並び、東日本にあつては一番温暖な所です。



また、静岡県は、沼津市を中心とする東部、静岡市を中心とする中部、浜松市を中心とする西部の三地区に分けられます。これは、江戸時代の伊豆、駿河、遠江のなごりとして、いまでも三地区に分ける習慣がのこっています。

今年の第五十八回の国体を迎える静岡県ですが、昭和三十二年に国体を開催していますので、これで二回目の国体開催となります。四十六年ぶりに静岡県に国体が帰ってくるわけです。

前回はオレンジ旋風といつて大変よい成績をのこして閉幕しましたので今回も県民は好成績を期待しています。

弓道競技の開催される、浜松市は、豊田佐吉の自動織機の発明に代表される繊維産業から始まり、トヨタ自動車・ホンダ・ヤマハ・スズキなど、また楽器メーカーの河合・ヤマハと大企業が次々に発生した所で、原因は浜松市が加茂真淵を始め国学のリーダーが多くうまれ日本の民族意識が醸成された所だからだと経済を研究する学者がいつています。

弓道本会場の可美総合公園は浜松市の西、愛知県に近い所で浜名湖がすぐそこ、といった感じの場所です。ここ

は夜間使用可能な野球場をはじめ、体育館やプールなどの施設が集まっています。この野球場に仮設の遠的本会場、遠的練習会場、近的練習会場等が設けられます。照明施設が利用できまので、少し暗くなっても競技は可能なのです。

近くには、浜名湖を望む穏やかな温泉地として名高い館山寺温泉があります。西行法師や北原白秋など歌人たちもこの光景を愛し続けた昔ながらの温泉街や史跡があります。

現在、弓道関係の役員、約二百七十人(補助員含む)が国体成功を目指して、運営の稽古を重ねています。私たち静岡県民の思いを結集し、一人でも多くの参加と協力を得ながら国体を成功させたいと頑張っています。

みなさまのおいでを心からお待ちしています。

外蘭監督「今年度は2種別の本国体出場ですが、力を合わせてベストを尽くして参ります。」

◆成年男子監督 外蘭公毅(上伊那)

選手 山岸稔員(上伊那)

志村 仁(諏訪)

牧内和宏(飯伊)

◆少年女子監督 永藤 聡(須高)

選手 中沢萌未(長野日大)

福沢留美子(伊那西)

植村 睦(長野西)

シンボルマーク



「ふじのくに」のスポーツの盛んな2003年全国大会から、県内、県外、県外から集う友と県内の友も、それぞれが、その風に乗って、「ふじのくに」で競い合います。シンボルマーク

## NEW!! わかふじ国体

マーク(愛称)2003年、「ふじのくに」で21世紀の若々しいパワーをはげめます。そして競争と共生の調和。新しい静岡の魅力を創出します。

## “がんばる”が好き

スローガン(合言葉)競技する人も応援する人も。全国から集う友も県内の友も。それぞれがともに手を取り合い“がんばる”。そんなひたむきにがんばるあなたが好きです。

### 全州信弓道支部対抗競技会

#### ―総合で上伊那支部に栄冠―

○9月7日/県営飯田/参加者250名

全日本選手権・団体出場選手の壮行会並びに県営飯田弓道場附属施設完成祝を兼ね盛会に開催された。

#### ◆近的競技(60射)

【団体】①諏訪支部38中(中田真也・三井宏子・山崎泰志・長尾真樹子・志村仁) ②上伊那支部38中(山岸稔員・伊藤綾・橋本和憲・久保田智恵・今井勉) ③飯伊支部32中(牧内和宏・松枝敏広・塩沢忍・木村由紀子・長谷川建五)



遠的・総合優勝に輝く上伊那支部

④飯山支部30中(大口晴男・石田真・清水和代・飯田秀樹・小山喜代二) ⑤長野支部30中(伊藤梓・等々力純喜代二)



近的優勝、諏訪支部

子・横沢 充・大蔵 務・小池梨枝子)

#### 【個人】決勝射詰競射

久保田智恵(上伊那) ○× ③

大蔵 務(長野) ○○○○○×○×②

志村 仁(諏訪) ○○○○○×○○①

#### ◆遠的競技(60射)

【団体】①上伊那支部40中(久保田智恵・水田明美・伊藤綾・橋本和憲・山岸稔員) ②諏訪支部39中(志村仁・木下緑章・笠原渚・相澤勝浩・宮坂博之) ③上小支部38中(水澤良宣・飛知和明弘・高地美佐子・小林博正・重田功) ④飯伊支部35中(長谷川建五・松枝敏弘・木村由紀子・塩沢忍・牧内和宏) ⑤飯山支部30中(大口晴男・石田真・清水和代・飯田秀樹・小山喜代二)

#### 【個人】決勝射詰競射

高地美佐子(上小) ×

伊藤 綾(上伊那) ×

木村由紀子(飯伊) ○× ②

牧内和宏(飯伊) ○○ ①

笠原 渚(諏訪) × ③

#### ◎総合成績 ①上伊那支部78中

②諏訪支部77中 ③飯伊支部67中



左 一位選手 志村 仁  
右 一位選手 牧内 和宏

### 第2回崇敬会大会

○7月20日/全弓連中央道場

明治神宮崇敬会会員による全国大会が開催され、昨年を上回る224人が参加した。県関係の成績は次の通り。

#### ▽四・五段の部

二位 深澤 累榮(安曇支部)

#### 原美奈子選手が個人準優勝!!

#### 第34回全日本教職員選手権大会

8月9日・10日、山梨県小瀬スポーツ公園武道館弓道場で開催され全国から127名の学校教職員が参加した。女子個人で、長野女子高校の原美奈子選手が準優勝に輝いた。

ら127名の学校教職員が参加した。女子個人で、長野女子高校の原美奈子選手が準優勝に輝いた。

・女子団体(12射)

長野A(原・菊地・原) 4中

・男子団体(12射)

長野A(松倉・古澤・飯田) 7中

決勝トーナメント進出

・女子個人決勝射詰

原 美奈子 ○○○○×× 2位

立井 万喜(愛媛新居浜南) ○○○○×○ 1位

・男子個人決勝射詰

松倉 志(松本深志) ○○×

高砂 健司(豊科) ○×

佐々木良三(飯田) ○×

増田 亮(岩村田) ○×

・男子団体決勝トーナメント1回戦

長野A 4中 ― 岩手B 5中

松倉 ○○ 坂本 ○○

古澤 ×× 島山 ×○

飯田 ○○ 菅 ○○



全日本弓道選手権大会  
北信越ブロック予選会

○7月27日/富山県大島町弓道場

参加者・各県代表男女各4名

長野県のみ男女各6名・合計44名

◇競技方法

○予選・各自一手2回(4射)を行い

採点制により上位10名を選出する。

○決勝・各自一手3回(6射)を行い

的中制により上位3名を選出する。

男女各3名が北信越ブロック代表として全日本選手権大会に出場する。

◆男子

一位 高野 直行(新潟) 6中

二位 押金 孝(長野) 5中

道越 良治(石川) 5中

◆女子

一位 逸見 妙子(石川) 6中

菊池真理子(富山) 6中

三位 遠藤由美子(長野) 5中

以上男女各上位3名は、北信越ブロック代表として出場します。

なお、県代表として出場する選手は

次の通りです。

◆男子 土川俊市 ◆女子 小池梨枝子

男女各全日本弓道選手権大会は、

9月20日～22日 伊勢市神宮弓道場

第24回北信越国民体育大会

少年女子本国体出場権獲得!!

○8月23・24日/新津地域学園弓道場

▽成年女子遠的

①新潟119点 ②石川106点 ③長野98点

(久保田31点・笠原14点・伊藤53点)

▽少年男子遠的

①富山221点 ②石川197点 ③長野174点

(荒井88点・高遠52点・岩下34点)

▽少年女子遠的

①福井164点 ②石川137点 ③長野136点

(中沢67点・福沢50点・植村19点)

▽成年女子近的(36射)

①富山26中 ②長野24中(久保田11

中・笠原9中・伊藤4中)

▽総合順位 ①富山8点 本国体へ

②新潟7点 ③長野7点

▽少年男子近的(36射) ①富山31中

②石川23中 ③新潟27中 ⑤長野23中

▽総合順位 ①富山12点 ②石川6点

以上本国体へ ⑤長野4点

▽少年女子近的(36射) ①長野25中

(中沢12中・福沢6中・植村7中)

▽総合順位 ①福井9点 ②長野9点

以上本国体へ(1、2位は近的での

競技による)

※本国体10月26～29日 浜松

長野県弓道遠的選手権大会  
第54回全日本遠的選手権県予選会

○7月20日/県護国神社弓道場/8射

▽男子4段以下 ①磯谷風太(松本)

7中 ②荻原大祐(上小)6中 ③高

井浩太(松本)6中

▽男子5段以上 ①木下禄章(諏訪)

8中 ②水澤良宣(上小)7中 ③牧

内和宏(飯伊)7中

▽女子4段以下 ①伊藤 綾(上伊

那)7中 ②木村由紀子(飯伊)6中

③笠原 渚(諏訪)6中

▽女子5段以上 ①高地美佐子(上

小)7中 ②久保田智恵(上伊那)7

中 ③棚田千鶴(長野)5中

◆全日本弓道遠的選手権大会県代表

○男子 牧内 和宏(飯伊)

大蔵 務(長野)

補欠 木下 禄章(諏訪)

○女子 水田 明美(上伊那)

松澤みさ子(須高)

補欠 高地美佐子(上小)

全国大会は10月11日～12日(東京)

審査合格者(地方)

○8月31日/飯山市営

一級 11名 初段 21名

二段 17名

吉澤嘉奈子・丸山 賢一・武田 祥平

田中 敦・金澤 雄三・塩崎 聡

瀧澤 亮・松下はるみ・土屋 紗綾

木内健太郎・飯田 圭・寺島 早人

近藤かおる・佐藤 明次・中山 洋一

三沢 健

参段 8名

大原由美子・政岡 茂・中沢 萌未

深澤 和美・吉野 昭司・土屋 明夫

平岩 真吾・小島みゆき

四段 3名

金子 恵美・本藤 幸恵・大場 芳雄

弓道用語・教歌

◆いよいよ

射よや射よ射よ射よ外の師はあらし。

習はぬ事を我とこそ知れ

◆射義指南歌百首中修学の歌

正しく師匠に稽古をつけてもらった

うえは、矢数を重ねて練習の上にも練

習を積むがよい。練習に勝る師は無

いとも云われよう。練習を重ねれば未だ

習わない事をも、我と我が身で発見体

得することが出来る。





### 皇后盃 第36回全日本女子弓道選手権大会

○9月20日～21日/伊勢神宮弓道場  
女子優勝は佐竹明美選手(北海道北  
部)で5年ぶり3回目の優勝。

開会式では遠藤由美子選手(長野)  
が「正射必中を目指し正々堂々と競技  
することを誓います」と宣誓の大役を  
果たした。長野県関係の成績は次の通  
り。

#### 第一次選考(一手2回)採点制

- 小池梨枝子選手 1420・6点
- 1回目××
- 2回目×○
- 遠藤由美子選手 1399・2点41位
- 1回目×○
- 2回目○×

### 天皇盃 第54回全日本男子弓道選手権大会

○9月21日～22日/伊勢神宮弓道場  
男子優勝は正法地清選手(広島県)  
で5年ぶり2回目の優勝。

長野県関係の成績は次の通り。  
第一次選考(一手2回)採点制

#### 第二次選考

- 土川俊市選手 1445・4点
- 1回目○○
- 2回目×○
- 土川俊市選手 1445・0点30位
- 1回目○○
- 2回目×○

惜しくも決勝進出ならず。  
代表選手の皆さん大変ご苦労さまで  
した。



## 弓仲習紹介

### 懐古射院と私達

小諸弓道会 会長 井出 重郎

私共の会は男子十九名女子十三名で  
組織され、練習場は武道館弓道場と懐  
古射院の二ヶ所を使用している。武道  
館は近代的建築ですが、懐古射院は小  
諸城址の中で大木に囲まれた古風な道  
場である。この道場は昭和三年に小諸  
市内の弓士高橋芳三先生、外五名の  
方々によって建てられたもので今年で  
七十五年の歳月を経た歴史のある貴重  
な建物である。当時は弓道場は少ない  
ので群馬県や新潟県の方々もこの道場



昭和51年 弓道教室終了記念

で練習をされたとのことである。長野  
県内の先生方も私の知るところでは県  
弓連の歴代会長さんをはじめ多くの先  
生方が練習をしている姿を見受けまし  
た。特に今は亡き林亮夫先生や柳原光  
春先生は度々御指導に来て下さいまし  
た。このように歴史のある道場で練習  
が出来た我々は誠に幸せである。私共  
会員は小数はあるが、範士栗林實先  
生、教士土屋隆先生、錬士小山田邦義  
先生、錬士笹沢幹雄先生方がおりご指  
導して戴けるので会員も恵まれており  
私も弓を習って幸せだと思っている。  
それは八十六才の今日迄引くことがで  
きたからである。的中は少ないが健康  
の為、つとめて八節を守りながら行射  
するよう心がけている。今年で六十回  
目を迎えた上信越大会も、会員一同の  
協力により無事終り、今は一人でも同  
志を増すようにと、土屋隆先生を主  
に、栗林先生による教室を実施してい  
るが、指導者のご苦労が察しられ感謝  
しておるところです。緑に囲まれた射  
院では今朝も早くから昇段を目ざして  
練習をしているようです。四季折折に  
素晴らしい勝景の中にある射院永久に  
残していきたいと念じつつ、会員一同  
頑張っているところです。

平成15年度  
全国高等学校総合体育大会  
第48回全国高等学校弓道大会

長野県関係の成績は次の通り。

◆男子個人予選(4射)

古田寿大(飯田風越) 3中 準決勝へ

塩沢宏幸(飯田風越) 2中

◆男子個人準決勝(4射)

古田寿大(飯田風越) 2中

◆女子個人予選(4射)

湯本七恵(長野西) 4中 準決勝へ

上原 幸(下諏訪尚陽) 3中 準決勝へ

◆女子個人準決勝(4射)

上原 幸(下諏訪尚陽) 4中 決勝へ

湯本七恵(長野西) 3中 決勝へ

◆女子個人決勝(射詰)

上原 幸(下諏訪尚陽) ×

湯本七恵(長野西) ○○×

◆男子団体予選(20射)

飯田風越 10中

◆女子団体予選(20射)

長野西 11中 決勝トーナメントへ

◆決勝トーナメント1回戦(20射)

長野西13中—12中利府(宮城)

◆同2回戦(20射)

長野西15中—12中大阪福島女(大阪)

◆準々決勝(20射)

長野西14中—13中豊明(愛知)

◇準決勝(20射)

長野西15中—13中石岡商(茨城)

◇決勝(20射)

秀岳館(熊本) 16中—14中長野西

島田 2中 4中 植村 睦

苗床 4中 3中 小林洋子

松川 4中 2中 樋口綾子

松川 3中 1中 中沢樹理

橋本 3中 4中 湯本七恵

無相大師奉賛弓道大会  
(高校の部)

9月14日/中野市営/参加者50名

▼男子団体24射 ①長野西15中(真岸

佳祐・和田宰・中村哲也) ②長野吉

田15中(篠原・松藤・丸山) ③飯山

南14中(佐藤・久保田・佐々木)

▼女子団体24射 ①長野西17中(寺島

礼奈・原孝子・唐澤亜津紗) ②文大

長野15中(矢島・横田・小島) ③長

野西14中(小林・中山・町田)

▼男子個人8射 ①真岸佳祐7中(長野

野西) ②久保田歩7中(飯山南)

③松藤圭一7中(長野吉田)

▼女子個人8射 ①島崎美穂7中(長

野吉田) ②唐澤亜津紗7中(長野

西) ③佐藤かおり7中(飯山北)

—土屋—

私と弓道

諏訪支部 宮坂 博之(練六)



私と弓との出会いは高校の部活である。それから三五年の時間が経つ。しかし初めて手にした弓矢

の感触や、初めて離れた時の感覚、初めてのことに中つた時の事は今でも鮮明に覚えていいる。そして、山あり谷ありの弓道人生、ここまで引いてこれたのはそれを許してくれた家族のおかげであり、一緒に弓を引いてくれる仲間達と、良き指導者に巡り合えた事と心から感謝している。

さて、私にとっての弓の世界とはなんだらうと考えてみた。初段から昇段することに射技に体配にと、少しずつ上達し弓の世界が広がってきた。五段は何年も掛つた。今思えばその原因も分かるのだが……。

五段になって更に弓の世界が広がった。何だかもうこれで良い様な気がして



いた。そのくらい弓の世界が広がったのである。その後色々あって十二年、審査から遠のいてしまった。弓を止めていた訳ではないし講習会にも出ていたが……五段の世界で満足していた。あまりにも錬士が遠く思っていた。

錬士は勉強した。講習会も受け、改めて教本を読み、礼記射義・射法訓を覚え、少しは理解し、体配も一からやり直し……そして錬士。その先にあつたものは今までの弓の世界とは一変する、素晴らしい弓道の世界であつた。五段から更に世界が広がったことに加え、弓の深さを感じたのである。心身弓の調和の美しさはここにあるのかと感じることが出来た。体配と弓の美しさは見ていただけでは分からなかつたことである。

皆、それぞれに目標も有るだらう、好きというだけで引いている人もあるだらう。弓道人生、若くして止めないでほしい。

弓を始めた頃である。高校の大先輩の濱與祐先生が(現在範士九段)が夏に部活に來られて、よく言われていたことである。

「楽しい弓を引け」と。

何時までも弓は楽しく、そして美しく引きたいものである。



第2回長野県弓道大会 in 長野

○7月21日/長野市営/参加者106名

▼団体(24射)

- ①運動公園K(原利彦・棚田千鶴・小林義行) 15中
- ②運動公園L(金子・伊藤・荒木) 13中
- ③尚弓会A(外山・古沢・飯田) 12中

▼個人(8射)

- ①須田銀子(長野) 7中
- ②荒木義博(長野) 7中
- ③棚田千鶴(長野) 6中
- ④小林義行(長野) 6中
- ⑤湧井和美(長野) 6中

第23回中央道沿線都市親善スポーツ大会(弓道競技)

○8月3日/県営飯田/参加者351名

▼団体 ①飯田風越高女子C(金子真帆・稲垣沙紀・三石慎子) ②飯田高男子B(田中・牧野・中平) ③下伊那南部(松下・村松・中島)

- ▼個人◎高校男子
- ①本道啓行(志学館) ②中平卓矢(飯田) ③平澤 遙(長姫) ④岩間隆彦(田川) ⑤梅本真平(明智)

- ◎高校女子 ①桜井千尋(飯田女子) ②丸山知美(下伊那農) ③泰保奈美(阿南) ④富永 萌(甲府商) ⑤三石慎子(風越)
- ◎一般 ①田畑隆夫(松尾) ②松村 顕司(飯田女子教員) ③相澤勝浩(芳野) ④中島 啓(天竜) ⑤松枝敏広(上久堅) | 村松 |

- 川) 7中 ②山崎義彰(松商学園) 7中 ③小林理央(岡谷南) 6中 ④小林優生乃(木曾) 6中 ⑤中野秀一郎(蟻ヶ崎) 6中

▼一般団体 ①松本(丸山乙弘・松川治・丸山三夫) ②中野上びな(原田・中山・土屋) ③長野運動公園C(木原・永島・鷹野)

- ▼一般個人(8射) ①松井幸彦(安曇) 5中 ②高木秀明(安曇) 5中 ③小山喜代二(飯山) 4中 ④永島淑子(運動公園) 4中 ⑤中山光康(中野土びな) 4中 | 安曇支部 |

第43回県下弓道須坂大会

○8月23日(高校)・24日(一般) 須坂市営/参加者470人

- 近の(高校) ★団体(24射) ▼男子 ①長野日大D(福澤辰瑠・田代哲也・鳥羽 弦) 18中 ②長野日大E(木本・中澤・北島) 16中 ③長野日大F(養部・鶴野・中西) 15中

- ▼女子 ①長野西C(寺島礼奈・町田菜津美・中山知子) 15中 ②中野西C(成田・古幡・峯村) 15中 ③文大長野C(矢島・横田・小島) 13中

- ★個人(8射) ▼男子 ①福澤辰瑠(長野日大) 8中 ②篠原光義(長野)

- 吉田) 7中 ③鶴野智基(長野日大) 6中

▼女子 ①寺島礼奈(長野西) 7中 ②成田沙織(中野西) 7中 ③有賀詩織(長野東) 7中

- 近の(一般) ★団体(12射) ①両手に花(高地美佐子・飛知和明弘・大澤裕子) 11中 ②中部電力(飯島・松野・佐藤) 8中 ③中野土びなB(郷道・武田・原田) 8中

- ★個人(16射) ①大蔵 務(長野) 13中 ②飛知和明弘(上小) 13中 ③佐藤嘉彦(中部電力) 12中 遠の(一般) ★個人(8射) ①樋口浩昭(須高) 7中 ②飯島 昭(松本) 6中 ③飛知和明弘(上小) 5中

第49回大町市制記念県下大会

○8月31日/大町市運動公園 参加者108名

- 近の(一般) ▼一般団体 ①中野土びな(小林勝子・大塚利恵子・原田正浩) ②安曇C(高木秀明・丸山喜男・上條 誠) ③池田B(曾根原・吉野・山田)

- ▼一般個人 ①飛知和明弘(上小) ②浅野久子(大町) ③上條 誠(安曇) ▼高校団体 ①塩尻志学館A(豊野・



吉川・本道) ②松本蟻ヶ崎A(小賀坂・今井・中野) ③池田工A(鎌倉・黒岩・細野)

▽高校個人 ①横沢萌葉(白馬)

②本道(塩尻志学館) ③豊野(同)

(遠的)▽一般団体 ①安曇C(高木秀明・丸山喜男・上條 誠) ②マシンガンズ(松井・松沢・平林) ③須坂(松沢・小山・大蔵)

▽一般個人 ①松井幸彦(安曇) ②曾根原登志男(安曇) ③丸山喜男(同)

▽高校団体 ①塩尻志学館A(豊野貢・吉川清高・本道啓行) ②松本深志C(牧野・清・本木) ③塩尻志学館B(矢口・保科・川口)

▽高校個人 ①牧垣秀一郎(松本深志)

②本木(同) ③本道(塩尻志学館)

—降旗忠男—

### 範士座談会開催

7月23日/岡谷市イルフプラザ

県弓連では連盟史の基礎資料となる草創期の長野県弓道について、範士の先生方にお集りいただきお話しをしていただきました。

宮沢廣先生が欧州セミナーへ出張中で出席できませんでしたが、外全員の範士のご出席をいただき実施されました。



7月23日  
範士座談会(岡谷)



### 15年度 錬士研修会

○8月30日~31日/県営飯田弓道場

参加者29名

講師は範士八段山川茂樹先生と教士

七段桜井耕三先生があたった。

本年も県下各地から熱心な受講生が参加し、一つの射礼・繰立ち射礼・介添え動作など内容の濃い研修であった。講師で山川先生は射技の向上や癖のある射の修正は一朝一夕にできるものではない。しかし体配は練習した

た。講評で山川先生は射技の向上や癖のある射の修正は一朝一夕にできるものではない。しかし体配は練習した



8月30日 錬士研修会(飯田)

け確実に向上が望める。各自気をつかい心を配って修練するよう激励があった。

### 会議報告

○8月16日/ホテル信濃路/長野市

県弓連 副会長・常任理事会

(議題)

・平成16年度事業計画について

・遠的選手権大会について

・中学校弓道について

・その他

◆今後会議予定

11月24日 県弓連常任理事会

12月14日 " 理事会・事業部会

### 編集後記

▼「弓道ながの」第7号発行の運びとなりました。「弓道ながの」が順調なペースで発行されており、高井広報部長の精力的なご尽力に負うところ大と認識しております。

▼県弓連ホームページへのアクセス件数が8月16日現在で7500件ほどとなっております。最近は何かが伸び悩みの状態にあると思います。できるだけ早いタイミングで更新を心掛けていますが十分には追いつけず、申し訳なく思います。皆様の情報提供のご協力も更に一層お願い申し上げます。

▼「連盟史」の編集についても、各部の担当責任者を中心に資料の収集や整理が精力的に行われております。進捗状況や今後の計画について、10月下旬に会議が開催される予定です。

▼「長崎ゆめ総体」に参加してきました。生徒たちが伸び伸びと、普段通りに、基本に忠実な射を実践し、予想以上の成績を収めることができました。ただ感動です。皆様のご声援に感謝申し上げます。

(飯田 秀樹)